

「税についての作文」

関東信越税理士会長野県支部連合会長賞

税金に支えられている私達の生活

豊丘中学校三年一組
杉戸和花

私は、普段生活している中で税金について考えることはほとんどありませんでした。唯一身近な税金に消費税がありますが、その他にどのような税があるのか知りたいと思いました。

新型コロナウイルスで休校になった際、豊丘中学校三年生はタブレットが一人一台貸し出され、数回オンライン遠隔授業が行われました。このことは新聞にも取り上げられ、豊丘村の対

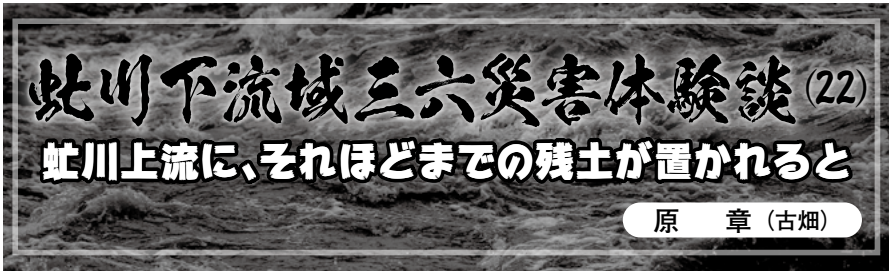
応に家族も驚いていました。そして村の議会だよりに「国庫補助金で小・中学校へ一人一台のタブレット三百台配備」という記事が載っていたと母が話してくれました。そこで、私はこの国庫補助金とはどのようなものなのか調べてみました。

国庫補助金とは、特定の施策を奨励するため、あるいは財政を援助するために国が地方公共団体に交付する金。使途を特定して国から地方自治体に交付する資金の総称ということが分かりました。そして、国庫補助金とは国民から徴収され

た税金、その他の貴重な財源でまかなわれていると記載されていました。タブレットが貸し出された時は、何気なく使っていたけれど、休校中も私達がタブレットを利用して授業を受けられたのは、税金のおかげだったのだと初めて知ることができました。

☆今のままなら虻川下流に余裕があるかもしれないが…

☆残土置き場が建設されたら、その余裕は…



☆今のままなら虻川下流に余裕があるかもしれないが…
今までの体験談からも分かるように、三六災の時に虻川下流は自然災害として大変な状況となりました。三六災で下流に流れてきた土砂などは、前の方で触れましたが、約八万㎡だそうですね。現在の新虻川橋から上村と北入の境界辺りまでが、比較的平らで上流からの土石などが堆積するところなんです。これも前の方で触れましたが、現状でのその容量を私が計算したところ、およそ十一万㎡と出せました。これらの数量を基にすれば、三六災の時よりも河床を下げ堤防を大きくしてあるので、雨量にもよりませんが、少し余裕があると言



工事が始まった本山の谷

が分かりました。また、公立学校の中学生一人あたりは、一年間に約百四万三千円、一ヶ月あたりでは約八万六千九百円、一日あたりでは約五千二百二十円（一日あたりの金額は年間登校日数を年間二百日として計算）も使われているというのを知り、とても驚きました。

また、学校で使っている机や椅子の購入、校舎の建設や修理も多くの人々が納めた税金によりまかなわれている。私達一人ひとりが平等に教育を受けられていることを改めて知ることができました。

今まで、税金についてあまり考えることはありませんでしたが、この作文をきっかけに税金について知

るのかもしれない。

☆超が流れてくるようなことが起これば、余裕は帳消しとなり、下流域は氾濫してしまいます。三万㎡は、全残土量の五十二分の一なんです。下流などで、いくら河川設備を整えても、残土崩壊が起これば、人為災害も加わって洪水被害が起

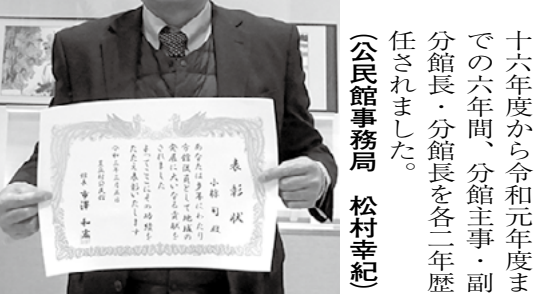
ることは必然です。（続く）

ることができました。税金を納めるということは、納税と呼ばれています。納税は、日本国憲法上で勤労・教育の義務と並ぶ、三大義務の一つです。大人になり働くようになったとき、私も税金を納めるようになります。税金はどのようなことに使われているのか、税金によってどのような生活が支えられているのかということを忘れず、考えていきたいです。

豊丘村公民館
功労者表彰 3月5日
前公民館第五分館長の
小椋司さんが受賞

公民館活動の充実と発展に寄与された方を表彰し、その労をねぎらうため「豊丘村公民館功労者表彰要綱」が定められています。要綱では、六年以上の長きにわたり分館長や分館主事など一定の役職を務めた方を各分館から推薦いただき、公民館運営審議会の同意を得て、公民館長が表彰するとしています。通常は二月に開催される「公民館まつり」において表彰状の

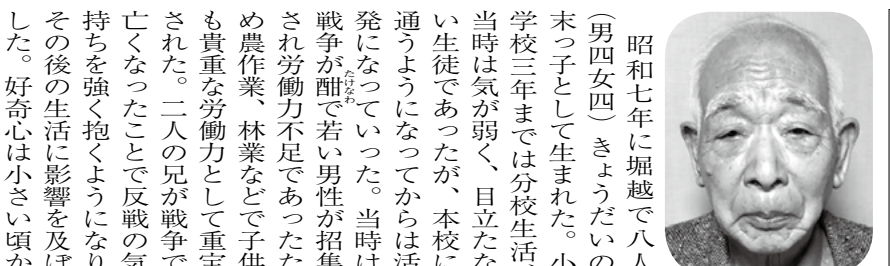
授与を行っています。今年度はコロナ禍により同まつりが開催できなかったため、三月五日に開催された公民館総部員会において表彰を行いました。



（公民館事務局 松村幸紀）

シリーズ「元気が高齢者」⑦
多くの元から得た教を返す時我が人生に悔いは無い

日下部富次さん
八十九歳
南市場在住



昭和七年に堀越で八人（男四女四）きょうだいの末っ子として生まれた。小学校三年までは分校生活、当時は気が弱く、目立たない生徒であったが、本校に通うようになってからは活発になっていった。当時は戦争が酷で若い男性が召集され労働力不足であったため農業、林業などで子供も貴重な労働力として重宝された。二人の兄が戦争で亡くなったことで反戦の気持ちを持ち抱くようになり、その後の生活に影響を及ぼした。好奇心は小さい頃か

ら旺盛で多くのことに興味を示した。高校三年間は陸上競技に打ち込んでいたが、卒業間際にふとしたきっかけで警視庁学校に入学した。しかし体を壊し退学、自宅に戻り療養していたが、下清内路中学校で職員の欠員が生じ、二十歳で代用教員として着任したのが、長い教職生活の始まりであった。

鹿塩小学校時代に、代用教員の悲哀を拭うべく通信教育を受け正式な教員となった。かくして阿智、高陵、喬木、高森、鼎などで教鞭を執り旭ヶ丘で定年を迎えた。鼎では校長先生から、肩書きに拘らない姿勢を不思議がられたが、経歴に拘ることとを良しとしないうの信念で意に介さなかった。

旭ヶ丘が教職生活で最大の危機であった。郡下で最大の生徒数を有しており、統合間もない学校ということで

授与を行っています。今年度はコロナ禍により同まつりが開催できなかったため、三月五日に開催された公民館総部員会において表彰を行いました。

授与を行っています。今年度はコロナ禍により同まつりが開催できなかったため、三月五日に開催された公民館総部員会において表彰を行いました。

授与を行っています。今年度はコロナ禍により同まつりが開催できなかったため、三月五日に開催された公民館総部員会において表彰を行いました。

公民館総部員会と 公民館基礎講座を開催

3月5日

豊丘村公民館では三月五日に本館及び分館の役職員約三十名が参加して、公民館総部員会と公民館基礎講座を開催した。

従来の総部員会では、一年間の本館及び分館の活動の総括を行い、情報共有を深めるための懇親会を行ってきたが、今年度はコロナ禍の中で、各分館の活動も思うようにできなかったこともあり、また、大人数での飲食についても慎重を期すため、懇親会に替わり公民館の基本を学ぶための基礎講座をあわせて開催することとした。

公民館の機能とは「集う・結ぶ」というものであり、公民館は「楽しく・ためになり・頼りになる」ことが大事であるとのこと。公民館活動の結果、産業の振興へとつながる何かが生まれる。「ひとづくり・地域づくり・つながりづくり」が図られ、持続可能な社会づくりへと発展させる。



参加者も公民館主事自身も楽しめることが必要で、「社会のために尽くせる人づくり」、「意欲と熱意のある公民館主事の存在が大事」との言葉を重く受け止める必要があると思っ

た。
(公民館事務局 松村幸紀)

豊丘の郷土資料を集めています

豊丘村図書館・資料館では、豊丘村、神稲村、河野村、豊丘の偉人について書かれた(記録された)古い資料を寄贈して下さる方を探しています。例) 神稲人物誌、河野村誌略、豊丘村民話集など
お心当たりのある方は豊丘村図書館・資料館までご一報ください。

電話：35-2286 (図書館)
35-9066 (資料館)

ある美しい話

小沢万里

(これは村の資料の中から拾った話。もちろん短く要約はしてあるが、脚色はしていない。場所は田村らしい) 夫に病まれて苦労している若い主婦があった。その若い主婦にどうしてもしまもったお金のいることができた。いろいろ工面し

(これは村の資料の中から拾った話。もちろん短く要約はしてあるが、脚色はしていない。場所は田村らしい) 夫に病まれて苦労している若い主婦があった。その若い主婦にどうしてもしまもったお金のいることができた。いろいろ工面し

さあ困ったのは娘と主婦である。そのうちに着物がなくなつたことが母親に見つかり父親も叱つてはみたが、今となつてはどうしようもない。

この話を聞いた村の庄屋はある用件で阿島のお役所へ行つたとき、溜り場でお役人と茶飲み話にこのことを話した。幾日か経つて阿島のお役所から村の庄屋に呼び出し状が来た。出頭すると溜り場に顔なじみの古町の庄屋も来ている。今日はなんだねと聞くと、古町の庄屋もなんのことだかわからんと言う。そのうちに二人一緒にお呼び出しになつた。揃つて行くと、上役がいて田村の娘が古町にお嫁に行くのは本当かと聞かれた。二人の庄屋は本当で

連翹の黄右往左往と芽吹き立つ雨音の春意ささやく閑居かな
長病みて蠟梅の香風にのり
冬満月風越山に寝に入りぬ
剪定や菓ごもり癒す青い空
この雪夜は氷柱となるつもり
天竜川の音澄みわたる春城址
白梅のひかり分け合ふ寺苑かな
天竜川の風眩しみて鴨の陣
世代交代ひびき渡りて節分会
路地毎に猫の声満つ春日和
神雪といふといへども枝撓ふ
友忌日礼法室の紫木蓮
一病に生き行く老後梅一枝
玉碎の兄の魂かと流水来

磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
森田 恵子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 純子
林 恵美子
丸山 時子
矢島千勢子
池田 美和
細井 恵子
吉川 明子
河手 洋子
北原 昭子

俳句 短歌

〈とよおか短歌会〉
大雪にて父は福井より帰れず数日かかりし昔を思う
壬生 千春
彼方より吹く風は如月の陽光と共に胸にこぼれる
毛涯百合子
「かにかや」と書けば孫らはじっと見て鬼こないでねと玄関にはる
筒井 恵子
手のひらを広げて夫は「あつたよ」と笑顔の前にふきのとう五つ
大原真由美
入院と決まりし夫にスマホ買い容体知らせと練習促す
松尾ヒサコ
大寒に雨音聞きつ炬燵にて雪とならぬか千ばつ憂う
福澤貴美恵
冬の日の我れ一番の幸せは何より続く洗濯日和
北澤 秀子
藪陰にオリオン見上し真夜中の幼き吾の夢輝けり
福澤 郁文
福澤 龜人

こちら資料館 ②③ 豊丘の石仏③ 「道祖神」

道祖神は塞の神ともいいます。道を守り災害を防止する神様であると同時に疫病や悪魔が村に入ってくるのを塞ぐ神様として村境や道の交差する辻などに建てられました。また、正月行事のほんやり(どんぶり焼)の火の中に自然石の道祖神を入れて燃やす風習があり、この火で餅を焼いて食べると一年中病気をしないという言い伝えがあります。昔はこの石をほんやり

前後に集落同士で奪い合つたりしたため現在残っているところは少ないといえます。(写真1) (武田彦左衛門「村の石神と石仏」より) また、郷土史家の酒井幸則氏によりますと、人の一生を旅に例えることによつて、道の神である道祖神が妊娠出産・良縁・和合・生殖：等々の神としての性格を併せ持つようになると、道祖神信仰は複雑に変

化してきたといえます。道祖神の多くは自然石に「道祖神」と刻んだものが多いわけですが、男女の神様の寄り添う姿を浮き彫りにした双体道祖神(写真2)と呼ばれるものは子孫繁栄の祈りが込められたものと考えられます。先ほど引用した武田先生の本には、村内の双体道祖神が六基記載されています。



写真2 写真1

資料館主任 唐澤武彦

文責：壬生雅穂

〈豊丘村川柳クラグ豊柳会〉

▼課題「春」 福沢勝美 選
春めいてそわそわしても自肅中 久保ひろし
モリカケも桜消しても春は来る 山本 義彦
わが青春恋と革命夢を追う 桃沢 健介
軸吟：コロナ禍をよそに花咲く春近し
▼課題「豆」 互 選
世の中のコロナ消えろと福は豆 市沢 照子
日本の胃袋支え豆製品 林 もも子
田の土手で食糧難に豆育て 安田 喜子
手の豆が語る労苦の泣き笑い 西元 峯子
▼自由吟 桃沢健介 選
己から飛び出し失格時津風 神稲 邪道
民耐えよ俺らステーク河豚クラブ 福沢 勝美
母の味忘れるもんか娘だよ 鎌倉美登里
女性蔑視世界に露呈五輪味噌 原 美風
軸吟：民よりも身内可愛い後継者

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.206

ジョウビタキ
(ヒタキ科)



二メートル先のジョウビタキをカメラに収めた。自慢したくて今月の主役に決めて書き始めた。ところが書いていくうちに、以前に書いたような気がして調べてみた。案の定、二度もあった。平成十六年一月は生態の特徴が、平成二十八年四月には「今のところ飯田・下伊那では確認されていないが、冬鳥のジョウビタキの繁殖が確

認されたと聞く」とある。その文献が最近、手に入ったので紹介する。
「八ヶ岳周辺におけるジョウビタキの繁殖と定着化」(林・山路 二〇一四)によれば、富士見町富士見高原(二〇一〇)、二〇一三、茅野市霧峰高原(二〇一三)、塩尻市塩嶺(二〇一三)との事。飯田・下伊那での今後の動向が気になる。
(山田 拓)



堅信をかためる青年たち

う一つが、堅信式と言われる宗教的な側面だ。堅信式は日本ではなじみのない行事だが、生まれてすぐ行われる洗礼の後、キリストへの信仰を確認する大切な行事となる。

堅信を行う年齢は地域ごとに違うが、北極圏では十五歳で行われる。親戚一同も各地からお祝いに参列する様子も見られ、宗教的な成人式の役割をなしている。堅信式は街の中心にある教会で行われ、十五歳の若者たちが緊張した面持ちで沢山の人の目を見守られながら祭式に参加する。そして式の終了後はイベン

れ、それぞれの街や地域からたくさんの人たちがお祝いをして集まってくる。そしてポースケが終わるとサームの国に春が訪れる。
(おわり)

堅信式に参列する人々

今年度最後の公民館学習会が三月三日に行われた。今回は飯田市千栄で民宿「宮のまえ」を経営している柏木ちづ子さんによる講演と、例年行う茶話会に替えて柏木さんの歌謡ショーを行った。学習会受講生のみならず村内で民宿経営をされている方々にもお声掛けをし、参加者は七十七名であった。

柏木さんは、鹿児島県奄美大島出身。中学三年生の時に家庭の事情で東京へ移住することになり青春時代を東京で過ごした。東京で勉強と仕事をしている中、

知人の紹介で現在のご主人と出会い、結婚したことをきっかけに長野県での生活が始まった。
長野県での生活では、言葉や地域の風習・伝統等の環境の違いに苦労したが、組合や婦人会への参加、家族の支えがあり、生活にも慣れることができた。長野県で暮らし始めてしばらく経った頃に、不幸な出来事等が続き、深い悲しみに暮れた時期が訪れるが、そこも家族の支えによって乗り越える。それから少し時間が経ち、義父の介護が始まると、家でできることはな

いか、一度きりの自分の人生でやりたいことをやろうと考えて出会ったのが民宿であった。
民宿を手探りで始めていく中で周りからは様々な声が届く。空いている時間に勉強会や料理講習会などに参加して、民宿経営の夢を叶えるための行動に移していった。
柏木さんの民宿では学生の受け入れを行っている。留学生の受け入れも行っているため、国内外関係なく

公民館でもコロナ禍だからこそできることに目を向け、多くの事業ができるように準備を進めていきたい。(公民館事務局 藁島祐太郎)

日本では桜が咲き誇る頃、北極圏はまだ雪に包まれている。そんな冬景色の中、北極圏では「ポースケ」が行われる。ポースケは英語ではイースターと言い、最近では日本でも浸透しつつあるキリスト教の春の行事

だ。今回はそんな北極圏のイースター祭、ポースケを紹介したいと思う。
ポースケは十字架にかけられて死んだキリストが三日目に復活したことをお祝いするキリスト教徒にとって重要な祭りだ。「春分の日の後の最初の満月の次の日曜日」という変動する日にちで行われるため、だいたい三月から五月の間で行われる。昔のサームはトナカイと生活をしていたため時期によっては北上の最中で参加することができないことが多かったそうだが、今では定住化、さらにはスノースクーターの発達でどこからでも参加することができるようになった。

僕に住んでいたカウトケイノではサーム・ポースケ・フェスティバルと銘打ち大々的なお祭りが開催される。このポースケフェスは二つの側面があり、一つは文化的な側面で五月に記事にしたヨイクのコンテストやコンサート、スノースクーターやトナカイぞりのレース、映画祭、氷上釣り大会などが街の各所で行われる。そして、

堅信を行う年齢は地域ごとに違うが、北極圏では十五歳で行われる。親戚一同も各地からお祝いに参列する様子も見られ、宗教的な成人式の役割をなしている。堅信式は街の中心にある教会で行われ、十五歳の若者たちが緊張した面持ちで沢山の人の目を見守られながら祭式に参加する。そして式の終了後はイベン

堅信式に参列する人々

公民館学習会
「出会い色々 人生いろいろ」

お客様と関わる中、「留学生とは言葉は通じないが、心の繋がりをを感じる」「学生から学ばせてもらうことがたくさんある」「今まで仕事を何回も変えてきたが、今の仕事が一番合っていて、遠回りはしてきたけれど、今までの経験が活きてきている」と感じているそう。また、このコロナ禍において今までのような民宿経営はできていないが、コロナ禍だからこそできることに目を向け、再び笑顔でお客様を迎えるための準備を進めている。

公民館でもコロナ禍だからこそできることに目を向け、多くの事業ができるように準備を進めていきたい。(公民館事務局 藁島祐太郎)

写真に大切な三分割構図を今回の回で解説しました。が、今回はもう少し掘り下げてみようと思います。左

の図は各辺を三等分したものです。この三分の一を撮りたいものを入れて残り

は引き立て役とすることが良いと説明しました。これだけではまだ人にうったえる写真にはなってきません。そこで分割された線の交点を見ると4つの点が現れます。この点の付近に自分が撮りたい被写体(目であつたり体であつたり)を配置するのです。手前の福寿草の花の位置を4とすると、

1(相反する位置)に相当する所はぼかして春らしさを出し演出しました。撮りたいものはしっかりピントを合わせることで。一輪だけよりも奥行きが出てくるのがわかると思います。梅の花も同じ要領で撮影しています。3にピントを合わせると2の位置の空いた部分に手前の花をぼかして入れ込んだことで無駄な空気が解消されました。花の撮影も風景も人物などもこの方法を取り入れることで立体表現ができるのです。狙ったもの(主役的な被写体)にはなるべく近い花などを狙うことです。そしてしっかりピントを合

わせ4つの位置を適用すれば、誰が見ても何か違うなと感じてくれることでしょう。では人物ではどうなのでしょう。同じ考えが当てはまります。左の写真では1と4を使って写しています。1の母と4の赤ちゃん

んをズバツと切り取って、親子の絆をストリートに表現しました。他周辺の素材はあまり関係がないため入れないことは重要です。周辺の環境まで入れるときは誰がどこでとなりまた違った見せ方をするようになります。もう一枚の親子の写真は4の位置に大きく子供の顔と母親の横位置ですね、そして1の部分を含める所には親子連れをわずかにぼかして配置しています。このように4つの点のことをビューポイントと呼びま

す。これをマスターできればほとんどの撮影された写真は生き生きとするはずで、風景でもこの手法は当てはまることから、大いに利用することで更に上達することでしょう。

写真・文 宮下正弘